

「車いす空の旅事業」に150万円を寄付

神奈川県遊技場協同組合(理事長：関根貞雄)と神奈川福祉事業協会(会長：関根貞雄)は、社会貢献活動の一環として、神奈川新聞厚生文化事業団が行っている「車いす空の旅事業」に150万円を寄付いたしました。

「車いす空の旅」は、毎年同事業団が主催して行っている事業で、日ごろ車いすで生活している障がい児者とその家族を募り、春には沖縄に、秋には北海道への空の旅に招待しているものです。

本年は、東日本大震災の影響で春の沖縄への旅は中止となりましたが、9月に予定されている北海道への旅に向けて、寄付を行ったものです。

1. 寄贈日	平成23年6月13日(月)
2. 場所	神奈川新聞社9階 神奈川新聞厚生文化事業団
3. 寄贈者	神奈川県遊技場協同組合・神奈川福祉事業協会
4. 寄贈先	財団法人神奈川新聞厚生文化事業団(千葉信行理事長)
5. 贈呈額	小切手150万円

6. 概要 神奈川県遊技場協同組合と神奈川福祉事業協会は、昭和60年から様々な社会貢献活動に取り組んでいるところですが、この車いす空の旅事業に対しては、平成元年から今日まで継続して支援を続けているものです。

寄贈に当たって、関根会長は「神奈川新聞厚生文化事業団の『車いす空の旅 招待事業』には深く感動しています。今年は沖縄への旅が中止となったが、北海道への空の旅を期待し、少しでもお役に立てればと思います。

大震災と原発事故との複合災害により、大変な状態ですが、これからもご支援を続けていきたい。」とあいさつしました。

千葉信行理事長からは「長年にわたってご支援を頂いておりますが、私たちの事業もここ数年、大変厳しい状況に置かれております。こうした中でこのようなご寄付をいただけることは本当に有難いことです。」との謝辞と感謝状を頂きました。

この寄付金贈呈式の模様は、神奈川新聞でも紹介されました。

